

式 会 入 「自主自律の精神を」 新会員へ熱いエール

平成24年度の秋田高校同窓会入会式が卒業式の前日の2月28日、本校教員の長谷部亮

氏(平成10卒)の司会のもと本校体育館で行われた。挨拶に立った豊口祐一同窓

講演要旨

岩手県人の母、福島県人の父のもと、私は秋田で生まれ育った。特段教育に厳しい家庭という事では

なかったが、「いい高校、いい大学に入り、大企業に就職すれば幸せになれる」という、

日本社会に漂っている匂いを嗅ぎとり、勉学に励んだ。その結果、秋田高校、早稲田大学を経て某外資系製薬会社に就職するこ

とができた。その会社は気が前がよく、私は欲しいものを何でも買うことができた。車も高級車を所有、パソコンも家電も最新のものを持っていた。高級料理を食べに行くのにも躊躇することはなかつ

Qué será, será

Turismo con Proposito代表

草野 剛 (平成10年卒)



自分が欲しいと思っていたのは、単に他人が欲しがっているものを実感できない毎日。

過ぎなかつたのではないか。

会社を辞めて日本からできるだけ遠くに行こう。できれば、趣味で勉強していたスペイン語が通じる国がいい。そんな私に打ってつけの国があった。アルゼンチン共和国―

会長(昭和34卒)が「卒業後も自主自律の精神を大切に、そして勤勉であれ」との言葉に続けて、「本校からの卒業は輝かしい未来へのスタート。今後は同窓会の財産である先輩を十分活用してください。また、困難は努力と勤勉で乗

退職して一週間後にはブエノスアイレスの空港に立っていた。目的のない人生はもうたくさんだと思っていたので、自分で目標を決めた。「ロサンゼルスまでバスで行こう」

アルゼンチンからチリ、ボリビア、ペルー、エクアドルを旅した。そしてコロンビアに入国する日になった。コロンビアは非常に危ない国だというイメージをもっていたのだが、ロスまでバスで行くというのが人生の目標だったので、目をつぶって入国した。5日を通り過ぎるつもりだったその国に、5年住んでしまった。

私を留まらせたのは、人であり共同体だった。ラテン系のイメージに違わぬ、明るい人たち。しかし、魅かれたのはそこではなかった。人間とは、弱くて汚くてどうしようもない動物である。彼らはそこを出発点に社会を形成して



コロンビアにて

り越え、それぞれの目標を達成していただく下さい」とエールを送った。続いて草野剛氏(平成10卒)が左記のような激励の言葉を述べ、新入会員たちは熱いメッセージを受け止めていたようである。高橋智徳同窓会副会長の「私もボロを出したり、人を騙したりしたが、皆が笑ってやさしく包み込んでくれた。失敗すればするほど、より強く抱きしめてくれた。とても居心地がよかった。人の価値を決めるのは、肩書きでも出身大学でも、稼ぐ年収の多寡でもない。弱くても、我欲にまみれてもいい人に認められる前に自分の愚かさ加減を受け入れ、他人と接することができるかにかかっていると思う。ペルーの首都リマの安宿で

会長(昭和40卒)から、新入会員に記念品(学校イラスト入りUSBメモリー)が贈呈され、これを受け、新入会員を代表し、吉川友里香さんがこれからの活躍を誓い、最後に全員で校友会歌を斉唱した。

出会った、アメリカ人のアル中哲学者の言葉。「人間は、生きているだけで芸術家であり、英雄なんだけ」

<p>勇気・決断・実行 鈴木明夫税理士事務所</p> <p>税理士 鈴木明夫 (昭和45年卒)</p> <p>〒010-0043 秋田市桜ガ丘二丁目2番地6 TEL・FAX 018-837-4121</p>	<p>ITOKU 毎日の食卓を 応援します</p> <p>株式会社 伊 徳</p> <p>代表取締役会長 伊 藤 碩 彦 (昭和35年卒)</p> <p>〒017-0046 秋田県大館市清水4丁目4-15 Tel 0186-49-2255 Fax 0186-49-7302</p>
---	--